



議会だより

# かつらぎ

Gikai 2011.11 (平成23年)

発行 / 和歌山県かつらぎ町議会  
編集 / 議会広報編集特別委員会

51号



給食おいしいね♪ (大谷小学校)

## 主な内容

**議員一丸となって議会改革を** 2ページ

**台風12号被害 復旧に4億円** 3ページ

**一般質問 おもいを届ける60分** 8ページ

**がんばる人紹介** 16ページ



# 本格軌道にのせる取り組みを開始

—これまでの主な

議会改革の取り組み—

## 町民の声を 聞くために

い、自治区長会をはじめ各種団体へ直接申し入れを行います。

青年層も含め男女別、年齢別、階層別に多くの方々から意見を聞くことができ

るようにしました。アンケート内容もなるべく簡素に

答えていただけるよう設問も少なくし、日ごろ議会や

議員活動について感じていることを率直にのべてもらえるよう自由な書き込み欄

もつくりました。

この研修内容を基に、9月12日、全議員によるブレ

インストリーミング（自由な雰囲気では批判せずに意見を

見を出し合う）を行いました。その結果、議会基本条例

例をつくって町民参加を基本とする開かれた議会を

目指し議会改革を行うことで合意しました。

第一歩として、議会改革に関するアンケート調査を

実施することに決まりました。実施期間は、10月から

11月中旬までの予定で、14人の議員自らが班編成を行

うことになりました。

12月議会で、議会改革に関する特別委員会を設置し、

アンケート結果を踏まえ、議会基本条例の作成につな

げていきたいと考えています。

ぜひ、ご理解、ご協力をお願いします。

お願ひします。

お願ひします。

お願ひします。

お願ひします。

お願ひします。

## 開かれた議会へ

・平成10年9月

議会広報編集特別委員会を設置

・平成11年5月

「議会だよりかつらぎ」を創刊

## 議会改革及び 議会活性化へ

（議会運営委員会が中心になって）

・平成18年9月

「議員必携」に基づいて議会運営について学習

・先進地の視察

平成18年度

北海道栗山町議会

平成19年度

長野県白馬村議会

平成20年度

熊本県御船町議会

平成21年度

北海道白老町議会

平成22年度

神奈川県開成町議会

・一般質問を円滑に

平成18年9月定例会から一般質問の通告書締切

日を議会開会日初日に変更

平成19年3月定例会から質問者全員と町当局が

一般質問打ち合わせ会を実施

平成23年8月

実施

実施



紀美野町・九度山町・

高野町・かつらぎ町の議

員を対象とした紀北ブ

ック町村議会議長会全議

員研修会に参加

# 議員一丸となって 議会改革を

第3回定例会は9月2日から開会し、16日に閉会しました。

議事内容は

- ・人 事 2件
- ・補正予算 13件
- ・条 例 3件
- ・決算認定 1件
- ・請 願 2件
- ・意見書 1件
- ・諸 報 告 2件
- ・一般質問 4人

詳細は紙面に掲載しています。

# 台風12号被害 復旧に4億円追加補正

## 補正予算

一般会計については、妙寺小学校校舎・屋内運動場改築工事の契約に伴い、工事請負費の減額など1億2367万9000円を減額しましたが、台風12号被害による災害復旧のため4億239万円を増額する追加補正が提出されました。また、水道事業会計についても、台風被害などに対応するため、2回の増額補正予算が提出されました。

### 【一般会計予算に対する主な質疑】

#### 災害復旧

#### 負担の軽減を

#### 問

台風12号の爪痕は大きい。災害復旧の分

担金は町道にはないが、農道に対してはあります。2路線で770万の分担金が計上されています。関係農家の負担が大きすぎると思

いますが、軽減の考えはありませんか。

#### 町長

担当課と協議し、関係農家の方々にできるだけ負担のないように考えています。

#### 問

町道、農道、公共的な構造物は補助金があり

ますが、裏山が崩落して、家屋に被害がでた場合、見舞金を出してはどうですか。

#### 町長

大変気の毒なので、よく協議し考慮します。

#### 工

#### 道の駅に設置

#### 問

道の駅に電気自動車

の急速充電設備をつくる事業とはどのようなものですか。

#### 産業観光課長

地球温暖化対策の一環

で、世界遺産のエリアに電気自動車で移動できる環境づくりのために充電ネットワークを構築するものです。

## 補正予算

件名	補正額	補正後の予算総額	
<b>一般会計</b>	2億7871万1000円	124億2261万1000円	
<b>特別会計</b>	住宅新築改修資金等貸付事業	250万4000円	1360万7000円
	シビックセンター	▲128万6000円	4293万3000円
	国民健康保険事業	4142万9000円	26億7862万2000円
	国民健康保険天野診療所事業	0円	1024万6000円
	後期高齢者医療事業	85万8000円	4億8941万1000円
	介護保険事業	4421万3000円	22億3671万4000円
	下水道事業	497万円	5億1813万3000円
	花園観光施設運営事業	0円	8095万7000円
<b>水道事業会計</b>	花園梁瀬簡易水道事業	56万9000円	648万3000円
	収益的・資本的収入	20万円	3億6483万9000円
	収益的・資本的支出	304万3000円	4億23万3000円

県内では7カ所、紀北地域では、高野町役場内とかつらぎ町の道の駅に設置されます。887万1000円の予算全額は、県の100%補助になっています。

## 公共交通

### 調査内容は

**問** 地域公共交通の効率の運行のための調査費を計上していますが、調査内容はどのようなものですか。

### 総務課長

新たにスクールバスが運行されるようになり、コミュニティバスとの調整を図るため、研究委託事業として和歌山大学に来年6月をめどにお願いするものです。

### 路線バス

### 停留所の待合所

### 問

紀北分院前バス停整備工事が計上されていますが、他の停留所でも町負担すべきではないで



すか。

### 総務課長

今後、整備にあたって現況を調査し、基準をつくって対応していきたいと思っています。

## 消防

### 問

消防団員の公務災害補償の掛金が1人1900円から2万4700円に引き上げられましたが、なぜですか。

### 総務課長

東日本大震災で人の死者・行方不明者が出ています。その補償をするため、平成23年度限りのものです。

## 隣保館

### 問

隣保館廃止後、施設の管理には、地元への管理運営委託、地元への払い下げ、公の施設としての運営、その他の施設としての運営の4つの方法があります。町は、隣保館は特別の地域の特別の館にしかならなかったと言っています。地元払い下げるとまさに特別な館として固定することになります。委託も同じです。この点をどう考えていますか。

### 町長

自治区への委託についてはいろいろ意見をいただいています。払い下げは、施設が大きいので無理だと思います。サロン事業は、大事な事業だと感じています。全体的な視点で取り組んでいきます。

## 条例

### 安全・安心のまちづくりを目指して

暴力団が社会不安を起している現状を踏まえ、すべての都道府県において「暴力団排除条例」が制定され、和歌山県でも取り組みを進めています。本町においても、条例が制定されました。

### 【主な質疑】

### 問

町内に暴力団事務所はあるのですか。

### 総務課長

ありません。

### 問

条例で規定されている公共事業等への参加を含め暴力団を利用することにならないようにするための罰則規定がない。したがって、第4条「町の責務」として、暴力団排除に関する総合的な施策を策定して本条例を実効性のあるものにすべきではないですか。

総務課長 その通りです。

### 問

第2条の定義では「暴力団員等による不当な行為を防止し、及びこれにより町民の生活又は町内の事業活動に生じた不当な影響を排除する」となっています。町民が暴力団員とのトラブルに巻き込まれたとき、役場に相談すれば力になってくれるのでしょうか。

### 総務課長

今までも取り組んできています。

青少年センター薬物濫用、事務局長 シンナー、覚醒剤などは、暴力団の準備軍になる面もあります。

今までも学校への出前授業等で対策を行ってきましたが、この条例が制定されるので、さらに取り組みを強めたいと思います。



## 税の改正 こうなった

今回の主な改正は次の4点です。

①不申告に対し過料等罰則規定の見直し

町民税・固定資産税・軽自動車税等、各種地方税の不申告等に対する過料を「3万円」から「10万円」に引き上げる等、罰則規定が見直されました。

②寄附金税額控除の拡充

町民税の寄附金税額控除の適用下限額を「5000円」から「20000円」に引き下げ、適用範囲が拡大されました。今回追加されたのは、町内に事務所または事業所を有するもので、独立行政法人、地方独立行政法人、公益社団法人、公益財団法人、学校法人、社会福祉法人、更生保護法人、認定NPO法人等です。

③肉用牛の免税範囲変更等

販売における免税対象

肉用牛を「2000頭」から「1500頭」に引き下げ、適用期限が平成27年度までになりました。

④軽減税率の適用期限を延長

上場株式等の配当所得等及び譲渡所得等に係る軽減税率（所得税7%・住民税3%）の適用期限が2年（平成23年12月31日～平成25年12月31日）延長になりました。

## 決算

### 各会計の決算を 継続審査へ

町監査委員によって審査された平成22年度各会計決算が、審査結果の意見書を付して提出されました。

議会では、内容についてより精査するため、決算審査特別委員会を設置し、付託して審査することになりました。

委員会の構成は、次のと

おりです。

委員長	新堀 行雄
副委員長	氏岡 誠
委員	堀 龍雄
〃	東芝 弘明
〃	浦中 隆男
〃	西村 善一

### 【監査委員に対する 主な質疑】

**問** 経常収支比率が90・6%と前年度比マイナス6・2%と大幅に改善している要因は、人件費の削減によるものと思いが、どう考えますか。

**監査委員** その通りです。

**問** 実質収支も黒字、実質単年度収支では、3億6353万円の黒字になったということに対する評価が書かれていないのは、なぜですか。

**監査委員** 評価を入れると数字が一人歩きして誤解を招く恐れもあるので、あえて入れていません。

**問** 多くの町民は、いまだにかつらぎ町にはお金がないという認識の方が多いと思われます。監査委員は、1万8000人を超える町民の中で、住民の代表として証拠書類を全部見て、監査することのできる立場にあります。町の会計がどのような状況にあるのかを町民に伝える責任があるとあります。会計の評価をぜひ行っていただきたいと思えます。

**監査委員** その通りです。

**問** 国民健康保険税の収納率が71・3%と前年度より0・06ポイント低下していますが、原因は何ですか。

**監査委員** 医療費の高騰によるものと考えられます。

**問** 後期高齢者医療制度の発足による影響もあると思われませんが、実際は、国保税が高すぎて払えないのではないのでしょうか。

**監査委員** そのように思います。

**問** 花園ふるさとセンターの運営形態等について、「創意工夫して集客数の増加を図るよう検討されたい」と指摘されていますが、これは、第3セクターや民間委託も視野に入れてのものですか。

**監査委員** その通りです。



天野診療所

**問** 天野診療所の診療状況及び財政運営について、「今後の運営を検討されたい」との指摘は、廃止も含めて考えているのでしょうか。

**監査委員** その通りです。

## 問

意見書には厳しさを増す財政構造と書いているのに、なぜ公共下水道について、認可区域の整備を計画的に推進すべきだと書いているのですか。現在の会計状況では、工事費で1億円を下回るような整備しかできないのではないですか。

## 人事

### 固定資産評価審査委員会委員を選任

任期満了に伴い、議会の同意を得て、選任されました。



小林 廣澄 氏(再)  
(74歳・佐野)

### 監査委員

整備が0・2%しか伸びないような状態なので指摘しました。



### 人権擁護委員候補者を推薦

委員辞職に伴い、議会でも適当と認められ、法務大臣に推薦されました。



谷口 千明 氏(新)  
(63歳・下天野)

## 報 告

### 財政状況を説明

平成22年度決算に伴い、町の健全化判断比率並びに資金不足比率の審査が町監査委員によって行われ、結果が意見書を付して提出されました。

## 請 願

請願2件を採択しました。

### 内水氾濫時の対策を

「藤谷川樋門閉鎖時に於ける内水氾濫時の対策を求める請願書」が提出され、所管の総務産業常任委員会に付託し、審査した結果が委員長より報告されました。その後、採決を諮ったところ、採択となりました。

◇請願者 佐野自治区長  
中岡新悦・真和自治区長  
中辻伸延 他1029人

### 福祉タクシー利用券とガソリン券の併用選択を

「福祉タクシー利用券とガソリン券を併用選択を求める請願」が提出され、所管の厚生文教常任委員会に付託し、審査した結果が委員長より報告されました。その後、採決を諮ったところ、採択となりました。

◇請願者 かつらぎ町身体障害者会 代表者 木村敏明 他1055人

福祉タクシー利用券			
平成24年3月末日限			
氏名	第	号	
手帳番号	第	号	
利用券番号	第	号	
かつらぎ町			

### 原子力発電の抜本的見直しを求め意見書を提出

東日本大震災によって発生した原子力発電所の事故による影響は、今もなお様々な広がりを見せており、原子力発電のあり方が問われています。太陽光、風力、水力、地熱を利用した自然エネルギー(再生可能エネルギー)の活用が取り上げられており、このエネルギー発電が実現すれば、地産地消で地域経済の活性化にもつながる可能性をもっています。期限を切って原子力発電から脱却し、再生可能エネルギーへの転換を図り、低エネルギー社会を目指すことを求める意見書を関係省庁に対し、提出しました。

## 8月臨時会

第2回臨時会は8月11日開会し、その日のうちに閉会しました。

議事内容は  
・補正予算 1件  
・契約 3件

## 契 約

2件の随意契約と1件の指名競争入札によって、3件の契約が決まりました。

## スクールバス購入

・契約者 和歌山三菱ふそう自動車販売(株)(和歌山市湊)  
・契約金額 1399万660円

## 笠田・渋田小学校 新校舎備品購入

・契約者 サカナカコーポレーション(かつらぎ町笠田東)  
・契約金額 1091万3469円



笠田小学校の新校舎

## 【主な質疑】

**問** 見積業者は、どのようにして選ぶのですか。現在、営業をやめている業者も選ばれているように思われます。選ぶ時点で営業しているかどうかは調べないのでですか。

## 企画公室長

指名願いが提出されている

業者から選ぶが、指名の時点で営業しているかどうかは調べていません。今後、営業しているかどうか十分注意したいと思います。

## 消防ポンプ 自動車購入

・契約者 (有)和歌山防火協会(和歌山市蔵小路)  
・契約金額 1467万9000円

## 補正予算

## ◆一般会計

認定農業者の自主性と創意工夫を活かした経営改善を資金面で応援する農業経営基盤強化資金制度を活用した場合の利子補給に対して債務負担行為が提出されました。

## 研修会で学ぶ

### 《町村議会全議員研修会・人権研修会》

平成23年7月22日、和歌山県町村議会議長会主催による県下町村議会議員を対象とした研修会が和歌山市において開催され、本町議員も出席しました。

#### ○研修内容

演題：「これからの政局・政治のゆくえ」

講師：時事通信社 解説委員

たざき しろう  
田崎 史郎 氏



演題：「新しい人権啓発の基本理念  
～いま 私にできること～」

講師：和歌山県人権教育啓発推進懇話会委員

むらた ほずみ  
村田 溥積 氏

# 一般質問 おもいを届ける60分



答弁する山本町長

## 1 宮井 健次

- (緊急提案) 東日本大震災を踏まえた学校施設の整備について
- 景観支障防止条例を本町にどう生かすのか
- 介護保険制度の「改正」について

## 2 東芝 弘明

- 笠田駅と妙寺駅へのパート駅員の配置について
- 国民健康保険の医療費一部負担の免除制度の活用について
- かつらぎ町における福島原発事故に関する対応について

## 3 赤阪 岩男

- 特定外来生物について
- 災害対策について
- 緑のふるさと協力隊の職務について

## 4 浦中 隆男

- 学校・幼稚園・保育所における連絡体制について
- 花園村との合併について

- ・ 一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ・ 内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。



## 第5期介護保険料 高すぎる保険料の抑制を

**町長** 作成委員会で十分検討する



宮井健次 議員

**問** 来年から始まる第5期介護保険制度の改定のポイントは何ですか。

**やすらぎ対策課長** 高齢者の方が

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを包括的に支援するための取り組みとして、6項目挙げられています。特に介護予防の日常生活支援総合事業については、市町村の判断により予防給付と生活支援サービスの総合的な実施を可能としてい

ます。

**問** 今回の「改定」の目玉の一つに、介護予

防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」）が新たにつくられました。地域包括支援センターの役割はどう変わってくるのですか。

**やすらぎ対策課長** 「総合事業」

は保険の給付対象外となります。その事業は、地域包括支援センターあるいは業者委託となり、サービス内容、利用料が変わったりします。

**問** 従来、要支援1、2

の方は、予防給付としてホームヘルパーやデイ

サービスを利用できたのに、今回の「改定」で、給付対象からはずされて、ホームヘルパーもデイサービスも利用できなくなる可能性があります。その判断をするのは、市町村になるということですか。

**やすらぎ対策課長** その通りです。

**問** これは明らかに「介護の社会化」を目指

した介護保険制度の危機、ひいては崩壊につながります。この「総合事業」は実施すべきではないと思えます。町長の見解を伺います。

**町長** 本町の地域特性、利用者の声を重視

しながら作成委員会で十分検討していただくよう考えています。



**問** 現在の保険料は、本町は4900円、全

国平均4160円よりも相当高くなっています。次期は5000円を超えることは確実です。すでに支払い能力を超えていると思いますが、保険料をいくらに想定していますか。

**やすらぎ対策課長** 財政安定化基

金の取り崩しで保険料の抑制に充てるつもりです。参考に、本町は2400万円拠出していますが、1000万円取り崩して保険料に充てても50円程度にしかならず、根本的には抑制になりません。

**問** 保険料のこれ以上の

高騰を避けるために、町当局として①一般会計からの繰り入れ、②低所得者に対する減免制度、これらの仕組みづくりを作成委員会の中で位置づけて保険料の値上げを抑えるよう要望します。



レクリエーション風景

この他に、①緊急提言「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について」、②「景観支障防止条例」を本町にどう生かすのかについて質問しました。

## 笠田駅と妙寺駅にパート駅員を

### 町長 実現できるよう検討します



### 東芝弘明議員

#### 問

笠田駅と妙寺駅にパートの駅員を配置する方法に簡易委託がありま  
す。これは切符販売のみを  
JRが団体や個人に委託す  
るもので、販売のおおむね  
5%を手数料として交付し  
ます。簡易委託は、土産物  
の販売などが行え、ユニホ  
ームにも自由度があると思  
われます。笠田駅は、朝10  
時すぎまで駅員が配置され  
ているので、簡易委託を受  
ける際には、詰めた協議が  
必要です。妙寺駅で「マル  
シェ」を運営されている方  
は、駅員配置は大歓迎だと  
言われました。本町の場合

観光協会への委託も考えら  
れます。2つの駅への簡易  
委託の導入を実現すべきで  
はないでしょうか。

#### 町長

観光、物産販売も  
かねて駅の活用が  
できれば、一番いいと思  
います。実現できるよう十分  
検討します。



せひパート駅員の配置を  
(笠田駅)

## 医療費の一部負担減免

#### 問

国民健康保険の医療  
費の一部負担に対し、  
減免制度の実施を求めます。  
国は、昨年9月、通知を改  
正しQ&Aを出し、考え方  
を徹底しています。国の減  
免規定はどのようなもので  
すか。

#### やすらぎ対策課長

災害、  
失業な

ど特別な理由で一時的に支  
払いが困難になった、入院  
すべき被保険者がいる世帯  
で、かつ被保険者の収入が  
生活保護基準以下であり、  
預貯金が保護基準の3カ月  
以下である世帯です。

#### 問

なぜ国は51年ぶりに  
通知を改正したので

しょうか。

#### やすらぎ対策課長

基準を  
示し積  
極的に取り組むように、と  
いうことです。

#### 問

国はわかりやすい制  
度設計を行いました。  
なぜ実施しないのですか。

#### 町長

当然やっていく必  
要があると思いま  
す。話を詰めるのに時間を  
いただきたいと思えます。

## 原発事故に対する対策方針を

#### 問

日本共産党町議団は、  
放射線量の測定につ  
いての申し入れを行いまし  
たが、測定しないという返  
事でした。なぜですか。

#### 総務課長

県の観測では、  
大気中の放射線  
量率に異常が見られないの  
で、独自の測定は行いま  
せんでした。

#### 問

放射線被曝には、こ  
れなら安全という値  
はなく、被曝は少ない方が

いいということです。暫定  
規制値とは、汚染が避けら  
れないので仕方なしにつく  
ったがまん基準です。小さ  
い子どもを育てる世代にと  
って、放射能汚染は、最も  
重要な心配事です。放射線  
量の測定をすべきではあり  
ませんか。

#### 町長

きわめて大事な問  
題なので、多くの  
方々の意向を踏まえ取り組  
む必要があるので、ご意見  
としてお聞きしておきます。

#### 問

福島原発に対する対  
策方針をもつべきで  
す。保育所や小学校の給食  
については、独自の基準が  
必要です。いかがですか。

#### 町長

きちんとした考え  
きだと考えます。

#### 教育長

子どもは、大人よ  
りも2倍3倍被曝  
の影響を受け、我々よりも  
長く生きていくので、慎重  
に対応する必要があります。  
特に食の問題については、  
内部被曝に関わる大きな問  
題なので、十分検討して取  
り組みます。

## 特定外来生物について

やすらぎ対策課長 調査は必要と思います



赤坂岩男 議員

**問** 予防三原則により、適切な対応が求められています。本町の外来生物の生息状況はどうなっていますか。

**企画公室長** ブラックバス、セアカゴケグモ、アライグマ、オオキンケイギクは確認されています。

**問** 外来生物の種類によって担当課が分かれています。一つの課での対応は難しいですか。

**企画公室長** 建設課、やすらぎ対策課、産業観光課の各課で目的に

応じて分かれていますが、窓口の一本化は可能な気がします。

**問** 生物多様性保全と里地里山法の報道があります。国からの通知はありますか。

**産業観光課長** まだありません。

**問** 自治体で地域住民や企業が生物多様性の保全活動に参加したいという機運を作るべきといわれていますが、どのように考えますか。

**建設課長** 今後、県の指導のもと、地域の協力、ボランティアという形で考えていきます。

**問** セアカゴケグモは2府18県で確認されて

います。セアカゴケグモの調査は可能ですか。



背面に赤い模様の特徴のセアカゴケグモ(メス)

やすらぎ対策課長 調査は可能で

す。今回は通報があり対応しましたが、今後も早急に対応したいと思います。

**問** 町の対応は生ぬるいのでは。紀北一帯の公的機関に抗血清はありますか。

**やすらぎ対策課長** 承知できません。

## 災害関係とそれに対応すること

**問** 町防災計画に基づく参集訓練を実施していますか。

**総務課長** 平成20年、初動活動の参集を行いました。現状と今後の問題点を洗い出しました。これを受けての参集も含めた防災訓練をしなければとの認識を持っています。3年前に実施しましたが、それ以降はしていません。

生まれてくるとしています。

**問** 相互応援協定が消防等にあります。県を覆う大災害があれば出動が求められると思います。消防団員の年間の殉職者は平均119人くらいが実態です。3月11日、東日本大震災では192人が死亡、59人が未だに行方不明です。関係者のDNA保存に取り組み自治体もあります。同意を得られるものならば、やっておかなければならないことではないと思います。

**町長** 指摘の通りだと思います。

この他に、緑のふるさと協力隊員2人の支援サポートについて、東日本大震災の被災者の受け入れ態勢について等、町のあり方を質しました。

**問** 調査によるデータ分析の新聞発表がありました。消防団は頼りにされているが、自治体職員は低い位置にランクされています。最近、特に非常時こそ公務員の真価が問われる時ではありませんか。

**町長** 再三の指摘、具体的な訓練に至らないという責任を痛感しています。厳しい訓練から行動は

# 学校・保育所の緊急連絡体制は

**教育長** 十分対応できるよう努力したい



浦中隆男議員

**問** 緊急時における、学校・保育所から保護者への連絡方法はどのようなのですか。

**教育総務課長** 電話連絡や連絡網です。最近ではメールによる配信をしている学校もあります。

**問** 大規模地震災害が発生すると、電話連絡が出来なくなります。その時の学校や保育所と教育委員会との連絡体制はどうなっていますか。

**教育総務課長** 現段階では、電話が不通になれば連絡の方法はあり

ません。

**問** 教育委員会と学校・保育所との連絡が取れないとなると、大混乱を起します。無線機の設置や、衛星電話の設置など通信のできる対策を是非お願います。

一部の小学校では、情報の発進にメール配信を利用してはいるようですが、どのようなものですか。

**教育総務課長** メール配信には、学校単位・学年単位・クラス単位での配信ができます。学校は保護者のプライバシーを保護し、また、登録費用も掛かりません。

**問** 緊急時において、安否情報を瞬時に送信できるのですか。

**教育総務課長** 一斉に送ることが出来ます。各学校に利用を進めています。

**問** 保育所での連絡体制を充実しなければなりません。メールの配信を

## 花園村との合併の効果は

**問** 花園村との合併に伴う交付税と合併特例債は、町政運営にどのような効果があったのですか。

**企画公室長** 合併による普通交付税の増加額は、平成18年度から平成23年度までの実績で12億476万6000円です。平成24年度から最終の平成32年度までの増加額は、見込みで12億7675万円程度です。合計すると約24億8000万円となります。また、合併特例債については、主に道路、学校教育施設、情報通信基盤、かつらぎ公園プール等の整備及びまちづくり基金の積み立て

活用し日頃から訓練を兼ねて連絡網を使っていく方法もあります。体制の確立を図って下さい。

**教育長** 十分対応できるように努力したいと思います。

**問** 合併後いろいろな対応をいただいています。花園地域に対する思いについてお答え下さい。

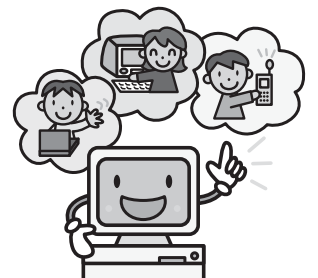
**町長** 花園地域の実情を、かつらぎ町全体の問題として進めていくことが、かつらぎ町の大きな取り組みの一つであると思っています。

**問** 花園村との合併により、町財政にどのような効果がありましたか。

**町長** 合併による国の財政的な支援、このことが、かつらぎ町の今日の発展に大きく寄与したことは事実だと思います。特例債と合併による支援によって、住民の要望や要求に対し、ある程度の事業を進めることが出来たことが評価できると思います。

**問** 花園支所はどうあるべきだと考えますか。

**町長** 支所職員の対応が地域の安全・安心の要求と、地域の考えてゆく方向を援助する役割を担うため、少なくとも今の職員の対応は必要であると思っています。



# 委員会活動報告

## 総務産業常任委員会

### 台風12号被害状況

9月6日に委員会を開催しました。

台風12号の通過による本町の被害状況等について、9月5日時点で集計された資料を基に報告を受けました。

本町では紀南地方のような甚大な被害はなかったが、消防団員が活動中に1人負傷したほか、河川敷グラウンドの表土流出等がありました。その他に、農業用水路3件、池1件、農道13件、町道26件、県道6件、国道3件、町管理河川1件、県管理河川2件について損壊の報告がありました。町道通行制限箇所等や農作物の被害についても報告を受けました。



台風12号により町道が崩壊（宮本町内）



農道が崩落（平沼田町内）

### 請願を審査

台風12号は、本町への直撃はなかったものの、大きな爪痕を残しました。

「藤谷川樋門閉鎖時に於ける内水氾濫時の対策を求める請願書」について審査しました。

請願趣旨は「紀の川と藤谷川の合流点で紀の川の上流の大雨による増水、ダムの放流、小田井の増水、七郷井の増水、紀の池の増水、更に桜谷樋門、みのり谷樋門が閉められる事で七郷井を通じて全てが集中し近辺住民が常時、家屋浸水、家屋流失の危険にさらされております。これから発生します台風、ゲリラ豪雨に対して非常に毎日が不安ですので町に対しまして速やかな対応をお願い致します」

とのことであり、藤谷川樋門閉鎖時における実効ある内水氾濫対策を求めるものです。

委員会では、台風やゲリラ豪雨によって危険にさらされることや、住民の生命財産を守るという観点から、速やかな対応を行うべきであると全員一致で採択しました。

### 意見書提出へ

「原子力発電、エネルギー政策の抜本的見直しを求める意見書」について、委員会において慎重に審議をし、全委員の賛成で本会議へ意見書を提出しました。

# 委員会活動報告

## 厚生文教常任委員会

### 請願は採択

9月7日に委員会を開催し、請願第2号「福祉タクシー利用券とガソリン券を併用選択を求める請願」について協議した結果、現制度では4割程度しか利用されていないのが実態で、制度を変更しても新たな予算の必要もなく、より多くの人が利用できることになり、障害者の福祉増進には極めて大切であるとの認識のもと、採決を諮ったところ委員全員が採択に賛成しました。

### 意見書の提出は 継続協議へ

環境自治体を目指す「ちつらぎ委員会」（事務局：福

岡県大木町役場環境課）から、「拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書」の提出依頼があり、担当課より内容について説明を受けました。デポジット制度は製品のリサイクルを推進するために、製品価格に一定の金額を上乗せして販売し、製品や容器を使用後に返却すると上乗せ分を返金することで、使用後の製品や容器などの回収を促進する制度であります。消費者負担の増加や返金の方法等に問題があるのでは」との意見が出され、引き続き協議することになりました。

### かつらぎ斎場視察

生活環境課からは、かつらぎ斎場火葬炉の改修計画案について説明を受け、現

地を調査しました。火葬炉は建設して30年が経過しており、劣化のため年々維持費が増加し、耐用年数を考慮すると大規模改修が必要となつていきます。工事は、業務に支障がないように行い、全炉を改修します。また、利用者の利便性を図るためにシャワー室の整備も検討されています。

### 学校給食の アレルギー対応

教育委員会からは、学校給食の進捗状況について説明を受け、食物アレルギー対応については、専用の調理器具と調理スペースを備えるとの報告を受けました。



かつらぎ斎場を視察



## ○ 井本新町長初登庁

去る10月2日の町長選挙で初当選した井本泰造新町長は、10月17日、役場職員をはじめ多数の関係者が出迎えるなか、第8代目のかつらぎ町長として初登庁し、女性職員から花束を受け取りました。

就任式の挨拶では、町職員に対し、町の活性化が重要な課題になっているとして公約を約50分にわたって語り、「町の活性化、住民の福祉の向上のために、職員一丸となって取り組んでいきたい」と決意を表明しました。



就任式で挨拶を行う井本町長

## ○ 新議員紹介



さい か ます み  
雑賀 増 己 (60歳・丁ノ町2232番地)

欠員に伴う町議会議員補欠選挙が10月2日執行され、即日開票の結果、雑賀増己氏が新議員に決まりました。

所属委員会は、厚生文教常任委員会並びに議会広報編集特別委員会になりました。

## ○ 山本町長退任

2期8年、町政を担ってきた山本恵章町長が10月13日任期満了を迎え、退任しました。

最後の議会となった9月定例会最終日、閉会の挨拶に立った山本町長は、「振り返ると2期8年、光陰矢の如しだった」と切り出しました。

山本町政は、三位一体改革や花園村との合併等、財政状況が厳しいなかでの始まりでしたが、小・中学校の耐震改修や学校給食、住民と一緒にあった協働のまちづくりの推進、守口市など友好都市とのアンテナショップ開設など、町政発展のため、さまざまな事業に取り組みました。

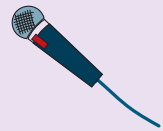
最後に「議員並びに町民の皆さん方のご理解、ご支援、ご協力により、職員一体となって事業に取り組むことができたことに感謝します」と締めくくりました。



# がんばる人紹介

## 声のグループ山びこ

今回は、「声のグループ山びこ」(会長 原田千恵子氏)を、録音作業中の総合文化会館に訪ねました。



声のグループ山びこのみなさん

### 会を始めたまっかけは

12年前、朗読講座がきっかけとなり、読み聞かせの活動などをしてきた個人が集まり、自主的に立ち上げたボランティア組織で、会員18人です。

### 主な活動は

目の不自由な方々のために、「広報かつらぎ」「議会だよりかつらぎ」「福祉Kかつらぎ」をテープに録音し、届けています。また、リクエストに応じて、これまで、乙武洋匡おとたけひろたかさんの「五体不満足」や松上京子まつうえきょうこさんの「車椅子から青空が見える」などを録音しました。テープを聞いた方からは、「自分だけで聞くのでもつたいないから、他町の人も聞いてもらった」との反応があり、私たちも喜んでいきます。

その他に、かつらぎ町の民話を手作りの紙芝居にしたり、また、民話や童話を

### 広報の録音に要する時間はまた工夫や苦労は

テープに吹き込んで小学校・幼稚園・保育所・老人福祉施設に送らせていただいで喜んでもらっています。

読み聞かせ活動は、依頼があればどこへでも行かせていただきます。

録音の日は毎月第2金曜日で4時間程度です。数字や金額が入ってくると、もっと多くの時間がかかります。多いときは90分テープ3本。聞いていただくための10人の方に配るためのダビング作業も自分たちで行います。予算などの表は、わかりやすくするために言葉を加え、「教育」と「共育」など、同音異義語は説明を加えるなどの工夫をしています。

「吹き込みは相手が目の前にいるつもりで」と教えられました。

耳だけで聞いてくださる方には、読み手の声だけで

### 楽しいことは

聞いてくれる方がいるので、そのことに励まされて続けています。そして、なんといいっても、仲間に会えるということなんです。読む時は、お腹から声を出すので健康にとっても良いです。

### 「議会だよりかつらぎ」はいかがですか

言葉が平易になり読みやすくなりました。がんばる人のページが身近に感じられます。子どもたちが表紙に載るようになったのがいいですね。

## 議会を傍聴してみませんか & ご意見募集!

次の定例会は12月上旬から開会予定です。傍聴については、事前申込みの必要はありませんので、お気軽にお越しください。日程については、下記へお問い合わせください。議会広報に対するご意見等も募集しております。なお、お寄せいただいたご意見は紙面に掲載することがあります。